

- 問1 アラスカの広大な原野において、太い輸送管が支柱によって地面から一定の高さに保たれた状態で地平線まで続いている様子が見られます。この施設に関連する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 乾燥帯の砂漠において、貴重な地下水を都市部へ供給するために建設された外来河川の引水管である。 | 2. 熱帯雨林の湿地帯において、銅鉱石を効率よく港まで運ぶために建設された輸送路である。 | 3. 永久凍土が広がる寒冷地において、原油を輸送するために建設されたパイプラインである。 | 4. 季節風による大雪の影響を避けるため、石炭を地上から浮かせて運ぶ専用の鉄道高架である。 |
|---|--|--|---|
- 問2 アメリカ合衆国において、1970年代以降に北緯37度より南の温暖な地域で急速に発展した、先端技術（ハイテク）産業が盛んな地域を何と呼びますか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. シリコンバレー | 2. コーンベルト | 3. スノーベルト | 4. サンベルト |
|------------|-----------|-----------|----------|
- 問3 北アメリカ大陸の南部に位置し、北側ではアメリカ合衆国と長い国境を接している連邦制国家はどこですか。太平洋とカリブ海の両方に面しており、地理的に中央アメリカ諸国とも隣接している国名を選びなさい。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|
| 1. カナダ | 2. アルゼンチン | 3. ブラジル | 4. メキシコ |
|--------|-----------|---------|---------|
- 問4 2020年におけるフランスとアメリカ合衆国の貿易統計について、自動車という品目における共通の傾向を述べた文として正しいものはどれか。なお、両国とも自動車は輸出額・輸入額ともに品目別で第2位に位置しているものとする。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------------|---|
| 1. フランスは自動車の輸出額が輸入額を上回っているが、アメリカ合衆国は輸入額が輸出額を上回っている。 | 2. 自動車の輸入額が輸出額を下回り、輸出超過の状態にある。 | 3. 自動車の輸出額が輸入額を下回り、輸入超過の状態にある。 | 4. アメリカ合衆国は自動車の輸出額が輸入額を上回っているが、フランスは輸入額が輸出額を上回っている。 |
|---|--------------------------------|--------------------------------|---|
- 問5 ある国の貿易統計において、輸出額ではアメリカ合衆国が約27万5千百万ドルと突出しており、次いでカナダ、中国、コロンビアの順となっています。また、輸入においてもアメリカ合衆国が第1位で、中国、日本、韓国、ドイツが続くという特徴を持つ国はどこですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. フィリピン | 2. アルゼンチン | 3. ブラジル | 4. メキシコ |
|----------|-----------|---------|---------|
- 問6 北アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に貫くように連なる標高が高く険しい褶曲山脈の名称を選びなさい。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. ロッキー山脈 | 2. アパラチア山脈 | 3. アンデス山脈 | 4. アルプス山脈 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問7 アメリカ合衆国の北東部から中西部、特に五大湖周辺に集積する自動車工業について、統計上の特徴や貿易の動向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 人口千人あたりの自動車保有台数が約860台と非常に高く、自由貿易協定を活用してカナダやメキシコなどの隣国への輸出を盛んに行っている。 | 2. 広大な国土のため自動車の需要は高いが、自由貿易協定による関税の影響を避けるため、隣国への輸出よりもアジア市場を優先している。 | 3. 国内産業を保護するため特定の一国のみの企業が生産を独占しており、主にアフリカなどの発展途上国への輸出に力を入れている。 | 4. かつては五大湖周辺で盛んであったが、現在はすべての工場がサンベルトへ移転したため、北東部での生産は完全に行われなくなっている。 |
|---|---|--|--|
- 問8 日本の小麦の輸入先について、アメリカ合衆国が輸入量全体の半分以上を占めていますが、これに次いで輸入全体の約27%を占める、日本にとって重要な貿易相手国はどこですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|------------|---------|
| 1. 中国 | 2. カナダ | 3. オーストラリア | 4. フランス |
|-------|--------|------------|---------|
- 問9 アメリカ合衆国とブラジルが、世界の大豆輸出量の合計で7割以上という極めて高いシェアを維持できている背景として、共通する地理的・経済的要因を説明したものを選んでください。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. アジア向けの食用大豆に特化し、小規模な農地で手間をかけた有機栽培を行っているため。 | 2. 広大な平原や開拓地を活用し、大型機械を用いた大規模な企業的農業を行っているため。 | 3. 生産された大豆のほとんどを自国内で消費し、余った分だけを輸出する政策をとっているため。 | 4. 降水量の少ない砂漠地帯において、最新の滴下かんがい技術を駆使して栽培しているため。 |
|--|---|--|--|
- 問10 都市の土地利用において、郊外に見られる一般的な特徴を説明したものとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 地価が比較的安いため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい | 2. 人口密度が非常に高く、限られた土地を有効に使うために住宅が密集して建てられている | 3. 利便性が最も高いため、官公庁や企業の中心的なオフィスが狭い範囲に集中している | 4. 土地の価格が極めて高いため、高層ビルや地下街を建設して土地を高度に利用している |
|---|---|---|--|
- 問11 アメリカ合衆国の西海岸にあるサンフランシスコから、東海岸のニューヨークまでを直線で結んだ地形断面の特徴について、地学的な背景を踏まえて説明したものとして適切なものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 西側のロッキー山脈は比較的新しい時代に形成されたため高く険しいが、東側のアパラチア山脈は古い時代に形成され浸食が進んでいるため標高が低い。 | 2. 大陸の両端には安定陸塊である険しい山脈が位置し、そのプレートの境界にあたる中央部には巨大な盆地が形成されている。 | 3. 中央部の平原地帯はかつて巨大な山脈であったが、氷河の削削によって完全に平坦化されたため、大陸で最も標高が低い地域となっている。 | 4. 環太平洋造山帯に属する東部のアパラチア山脈は、西部のロッキー山脈よりも地殻変動が活発であるため、より険しい山容を呈している。 |
|--|---|--|---|
- 問12 温室効果ガスの排出量に関する統計において、2020年時点の排出総量が約4,744百万トンと世界的に見て上位にあり、さらに国民1人あたりの排出量が約12.9トンと、他の主要国と比較しても極めて高い水準にある国はどこですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|------------|
| 1. 中国 | 2. インド | 3. 日本 | 4. アメリカ合衆国 |
|-------|--------|-------|------------|
- 問13 アメリカ合衆国の内陸部において、乾燥した地域でも大規模な農業を可能にしている仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. センターピットと呼ばれる、地下水を汲み上げて長いアームで円形に散水する自動灌漑施設を利用している。 | 2. 家畜を季節ごとに移動させ、自然に生える草を餌として利用する伝統的な放牧を行っている。 | 3. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに耕作地を移動させる方式をとっている。 | 4. 等高線に合わせて土地を階段状に切り拓き、雨水を効率よく貯めることで稲作を行っている。 |
|--|---|---|---|